

東葛モラルアップ通信・令和8年5月号



チーム東葛飾、子供たちの未来のために～育成・共創～

東葛飾教育事務所・モラルアップ推進会議

■年間テーマ: 第三者の気づく力を育てる

◆今月のテーマ「**児童生徒性暴力等**」

「第三者の気づく力」とは？

◎不祥事の目に気づく力

→不祥事根絶

◎お互いの良い所に気づく力

→より良い職場環境・士気向上

性暴力は「魂の殺人」と表現される程、被害児童生徒の心に一生消えることのない傷を負わず犯罪行為です。絶対に、1件も起こしてはいけません。しかし、もし自校で起こってしまった場合、被害児童生徒の痛みを最小限にとどめる努力をしなければいけません。初期対応に当たる教職員の言動によって、傷がさらに深まってしまふのか、最小限にとどめることができるのかが変わってきます。今月号では、児童生徒性暴力等が自校で起こってしまった場合の対応について、特集します。

先生、実は私・・・

もし、あなたが「子供から被害の訴えがあったら・・・」

「同僚の疑わしい言動を目にしたら・・・」、どうしますか？

あなたの行動で被害にあった児童生徒の人生が大きく変わってしまうかもしれない！

児童生徒性暴力の被害を最小限にとどめる対応に必要なこと、それは・・・

● **どんなことが児童生徒性暴力等に該当するか**

● **発生した場合にどのような行動をとらなければいけないか**

を認識することです！

どんなことが児童生徒性暴力等に該当するの？

「教職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」に定められた【性暴力】とは、児童生徒等に対し

性交等 わいせつ行為 面会要求 児童買春 児童ポルノ 性的姿態撮影等 盗撮等を行うこととされています。

※児童生徒の同意の有無は問わない＝同意があっても性暴力

さらには、「指導上不必要な身体接触」「性的羞恥心を害する言動（児童生徒の心身に有害な影響を与えるもの）」も性暴力と定義されています。

Question 次の行為は性暴力？

【児童生徒を膝の上に乗せる】【児童生徒を抱きしめる】

答えは
教職員のサービスに関する
ガイドライン P12
をチェック！！



児童生徒性暴力が発生した場合、初期対応として速やかにやらなければいけないことは？

『 **保護** 』と『 **通報・通告** 』です。

→ **保護** について（法 第十八条 6項）

被害の申告があった場合、当該者との接触を避ける等の措置を講じる必要があります。
必要に応じて『授業の担当者を変更する』『担任業務からはずす』等の対応を検討します。

→ **通報・通告** について（法 第十八条 1項～4項）

性暴力等防止法では、事実を認知した職員に対し、通報する義務を課しています。

- 性暴力の疑いが生じた時点・・・直ちに市町村教育委員会に報告
- 犯罪の疑いがあると思われる場合・・・速やかに所轄警察署に通報
- ※加害者が保護者の場合は児童相談所への通告

原則は
管理職が行う

◆実際に児童生徒から性被害の訴えがあった場合、速やかな対応に向けて初期聴取を行います。◆

【初期聴取のポイント】

① **聞き取りは最小限にとどめ、速やかに通報、通告を行う。**

「 **誰が** 」 「 **誰に(どの部分に)** 」 「 **何をした** 」 の3点で充分！

注意 「 いつ 」 「 どこで 」 は記憶が残りにくいいため、聞いてはいけない！

※子供が自ら話す場合には、止める必要はない。 ※話に矛盾があっても追及しない。

② **子供から聞いた状況を記録する。**

- ・いつ、どこで、どのようなやりとりの中での話を記録する。
- ・子供の発言や自分の質問を要約したり整えたりせず、“発言したセリフのまま”記録する。

③ **他の人が該当児童生徒から、再度話を聞くことはしない。**

- ・報告を受けた職員による再度の聴取は絶対にしない。
- ・管理職は直ちに市教育委員会に報告をする。

※2人目以降の大人は最初に聞き取りした職員から聞き取るようにする。

被害を受けた児童生徒は心身に大きなダメージを受けており、大変混乱しています。また、児童生徒の特性として「大人、特に教員などの権威性の高い人に迎合しやすい。」「大人に対して“わからない”“知らない”と言にくい」「何度も同じ質問をされると答えが変わってしまいやすい」とされています。つまり、事細かに事実を聴取してしまうと、「記憶にないことを答えてしまう」可能性が有ります！

記憶がすり替わる等により本来の記憶と異なってしまう現象を「**記憶の汚染**」と呼び、「記憶の汚染」が認められると、司法の場で「信用ある証言」として認定されない可能性があります。

さらに、被害体験を忘れたたいと思っている児童生徒にとって、何度も話を聞かれてそれを思い出させられることはトラウマ体験をより深めることとなります。初期聴取で大切なのは、**『記憶の汚染を防ぎ、速やかに通報・通告する』**ことです。

<望ましい初期聴取>

児童	「嫌なことされているの」	教諭	「どうしたの？」(何をした)
児童	「抱きしめられるの」	教諭	「誰が抱きしめるの？」(誰が)
児童	「A先生」	教諭	「誰を抱きしめるの？」(誰に)
児童	「わたし」		
_____ これ以上の質問は必要ない！ _____			
教諭	「そうなんだね。よく話してくれたね、どうするか一緒に考えようね。」		



P31～、P44～をチェック！！

子供のたちの未来を守る、第三者の気づく力を育てましょう！

紹介

風通しの良い職場を作るために ～マシュマロチャレンジ～

職場でのレクリエーションなどで活用できる【マシュマロチャレンジ】を紹介します。

<用意するもの(1チーム)>

- | | | | |
|-----------------|------|-----------|-------------|
| ・乾燥パスタ(1.7mm推奨) | 20本 | ・マスキングテープ | 90cm |
| ・ひも(タコ糸のようなもの) | 90cm | ・マシュマロ | 1個 |
| ・はさみ | 1個 | ・メジャー | 1個(記録測定のため) |

<ルール>

4人1チームで、作戦タイムも含めて18分間で行います。上記の材料を使い、「自立可能な「できるだけ高いタワー」を立てて、タワーの上にマシュマロを置きます。(※パスタに刺してもOK) ただし、テープで足場を固定してはいけません。

パスタやテープ、ひもは切ったり貼ったりするのはOKです。マシュマロを切ってはいけません。そして、計測の最中もタワーが立っていなければ、記録とはなりません。

<その他>

世界記録は99cm！このゲームは、パスタを使って自立タワーを立て、最も高い位置にマシュマロを置けた(刺せた)チームの勝ちです。チーム内での「協力」「役割分担」「コミュニケーション」の重要性を学べるだけでなく、『戦略』『PDCA』『イノベーション』といった要素を学ぶこともできるゲームです！一緒に悩み、一緒に楽しみ、一緒に学ぶ、ぜひ、学校のレクリエーションにご活用下さい。

